

次期 SIP「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」に係る
検討タスクフォース（第9回） 議事要旨

1. 日時 令和4年8月23日（火）13:00～15:00
2. 場所 量子科学技術研究開発機構 東京事務所第一会議室 及び Web 会議システム
3. 出席者
 - (1) 座長、プログラムディレクター（PD）候補
寒川 哲臣 日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所
常務理事 基礎・先端研究プリンシパル
 - (2) 有識者
昆 盛太郎 産業技術総合研究所 物理計測標準部門 研究グループ長
山城 悠 株式会社 Jij 代表取締役
萬 伸一 理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長
 - (3) 関係省庁
総務省 国際戦略局技術政策課 研究推進室 課長補佐
文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 量子研究推進室 室長
経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発調整官
 - (4) 研究推進法人
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 経営企画部 次長
 - (5) 事務局
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官（量子・マテリアル担当）
4. 議題
 - (1) 量子コンピュータ実機開発・運用に向けて
 - (2) イノベーション基盤について
 - (3) 先行研究について
 - (4) その他

5. 配布資料

資料1 萬副センター長資料

資料2 山城代表取締役資料

資料3 昆研究グループ長資料

資料4 次期SIP検討タスクフォース等の進め方について（案）

資料4別添 FS実施方針案

資料5 R4年度のSIPの予算について

資料6 先行研究の選定・審査について

資料6別添1 大島センター長資料

資料6別添2 五十嵐チームリーダー資料

資料6別添3 根来チームリーダー資料

資料6別添4 福田首席研究員資料

資料6別添5 高野副連携研究室長資料

参考資料1 次期SIP課題候補検討タスクフォースの設置について

参考資料2 次期SIP課題候補検討タスクフォース構成員

6. 議事要旨

(1) 量子コンピュータ実機開発・運用に向けて

萬副センター長が資料1を用いて、量子コンピュータ実機開発・運用に向けての説明を行った。

(2) イノベーション基盤について

山城代表取締役が資料2を用いて、Jijの量子・最適化に関する取り組みの紹介を行った。

(3) 先行研究について

昆研究グループ長が資料3を用いて、先行研究の調査内容、予算についての説明を行った。

(4)

事務局より資料5、資料6を用いて、本FSの予算配分についての説明を行った。これまでの先行研究のヒアリングを踏まえ、先行研究に関する内容・配分額は座長に一任することとした。

事務局より資料4を用いて、今後のスケジュールについて説明を行った。

以上